患者が知覚するインフォームド・コンセントに関する心理学的分析

—診療科による違い—

○高尾堅司・水子 学・金光義弘

(川崎医療福祉大学医療福祉学部)

キーワード: インフォームド・コンセント, 患者, 診療科

Psychological analysis of perceived informed consent by patients: difference on medical service

Kenji TAKAO, Manabu MIZUKO and Yoshihiro KANEMITSU

(Kawasaki University of Medical Welfare, Faculty of Health and Welfare)

Key words: informed consent, patients, medical service

目 的

医療現場におけるインフォームド・コンセントは、患者が良質な医療を受けるうえで重要な要素の一つである。医療従事者は、患者に対して良質な医療を提供することを目的とする以上、医療従事者にとってインフォームド・コンセントを無視することはできない。医師と看護師の両者が、ともにインフォームド・コンセントの重要性を認知していることが確認されていることが示すように(高尾・水子・金光, 2009)、医療従事者の間で共有されていることが考えられる。

言うまでもなく、インフォームド・コンセントは医療従事者と患者との間で形成されるものである。したがって、患者側がインフォームド・コンセントに対して非協力的であったり、あるいは医療や治療に対して消極的な姿勢を示すならば、良質なインフォームド・コンセントを実現することは困難である。したがって、患者自身がインフォームド・コンセント、医療そして治療に対してどのような考えを持っているかが、インフォームド・コンセントの成否に直結しうると言えよう。

それでは、患者自身はインフォームド・コンセントに対してどのように知覚しているのだろうか。おそらく、近年のインフォームド・コンセントに対する関心の高まりを考慮すると、多くの患者がインフォームド・コンセントを重視しているはずである。よって、抱える症状や診療科の違いに関わらず、多くの患者がインフォームド・コンセントを重視しているであろう。一方、これとは異なる解釈も可能である。病院を訪問する患者の症状は様々であり、また診療科も様々である。患者が受ける医療サービスは、診療科の違いによって異なる。このように仮定すると、複数のインフォームド・コンセントの構成要素のうち、診察を受けようとする科の違いによって、インフォームド・コンセントに対する見方が異なる可能性がある。ただし、いずれにせよ推測の域をでない。以上の問題意識に基づき、本研究では患者を対象に、診療科の違いによるインフォームド・コンセントに対する知覚の違いについて分析した。

方 法

手続き 2008年8月から2009年3月にかけて、近畿地方の病院にかかっている患者を対象に、質問紙調査を行った。診療科のうち、特に受診者が多かった産科(男:0名,女:54名;平均年齢30.8,SD=3.8)、整形外科(男:13名,女:18名;平均年齢49.8,SD=19.5)、外科(男:20名,女:5名;平均年齢53.4,SD=12.7)をそれぞれ分析対象とした。

項目 インフォームド・コンセントを構成する要素として説明と傾聴に関わる項目を作成し、患者側にとって納得できる医療を実施するうえでの重要度(1:まったく重要ではない;5:非常に重要である)と、医療全般に関する項目(1:まったくそう思わない;5:非常にそう思う)についてそれぞれ評価を求めた。

結 果 と 考 察

一元配置の分散分析を行った結果、インフォームド・コンセントを構成する要素においては、「口調」および「患者からの積極的な質問」、医療に対する意識については「最新医療と難病完治」の両項目において統計的に有意な差が確認された。

さらに、下位検定を行ったところ、「口調」においては産科および整形外科の患者は、外科の患者よりも重視していることが確認された。また、「患者からの積極的な質問」においては、産

科の患者の方が外科の患者よりもその重要性を高く知覚していた。一方、「最新医療と難病完治」の項目においては、外科の患者の方が産科の患者よりもその可能性を高く評価していた。以上の結果は、診療科の違いは患者の病状の違いを示しており、それに伴って求められる対応が異なることを示唆している。これに伴い、インフォームド・コンセントの構成要素に対しても、重視するものとされないものが診療科によって異なるものと考えられる。

Fig.1 インフォームド・コンセントの構成要素および患者側の要因に関する諸項目に対する知覚

Fig.2 医療に関する諸項目に対する知覚

付記 本研究は科学研究費補助金(研究種目:基盤研究C;課題番号:18530499;研究代表者:高尾堅司)の助成を受けた。